

## 5 住みよいくらしをつくる

### ① 水はどこから 10時間完了 教科書 (p. 36~53) 副読本 (p. 20~35)

担当名 (前芝小 伊藤 博一) (牛川小 山内 晴代)

- ・教科書と副読本で行う。教科書の学習の流れにそって、副読本の資料を使って学習をすすめる。
- ・副読本5章の「水はどこから」と「使われた水のゆくえ」はどちらか選択して学習する。

#### 指導計画

東京書籍「新しい社会」		副読本「かがやく豊橋」
本時の学習	○おもな学習活動 ・内容	●おもな学習活動 ・内容 ◇指導上の留意点
<p>①②身のまわりの水と水不足・わたしたちが使う水の量 p36~39 (2時間)</p> <p>(副)</p> <p>①②水道水の使われ方。・水の使用量の変化 P93, 94, 95 (2時間)</p> <p>つかむ</p>	<p>○生活のどんな場面で水を使っているかを振り返り、使っている場面の様子を絵や文に表し、発表し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プール ・飲み水 ・田植え</li> <li>・料理 ・生活用水 ・農業用水</li> <li>・工業用水</li> </ul> <p>・水は、生活や産業のいろいろな場面で使われる大切な資源であり、水が不足すると支障がでる。</p> <p>○1日にどれくらい使うか理由をもとに予想し、実際の量を目で見て感想を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分一人や市全体でもたくさんの水を使い、人口の増加や給水の方法の変化によって水の使用量が増えている。</li> </ul> <p>○市の人口の変化と給水量のグラフ、水を手に入れる方法の移り変わりをくらべて、気がついたことから学習問題をたてる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人口の増加や水を手に入れる方法の変化によって、水の使用量が増えている。</li> </ul>	<p>●くらしの中で水がどのような使われ方をしているか予想して発表しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・飲み水 ・洗濯 ・工場</li> <li>・学校 ・消化 ・洗車 ・蛇口</li> </ul> <p>◇「かがやく豊橋」P93の絵を参照し考えさせ、自分たちの生活には、水が必要不可欠であることに気づかせる。</p> <p>●家庭での水道料金表から、1日にどのくらいの水を使っているか、ペットボトル(2リットル)に換算して、予想しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人あたり325リットル</li> <li>・ペットボトル300本以上</li> </ul> <p>◇身近な給食の牛乳瓶 200ml 1600本以上を出してもよい。</p> <p>◇「かがやく豊橋」のP94~P95のグラフを参考にして学習問題をたてる。</p> <p>◇水の使用量の増加の理由を予想させたい。人口の増加や生活様式の違いなど、いろいろ出るとよい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人口が増えた・簡単に手に入る</li> </ul> <p>◇業者テストでは2010年になると使用量が減少しているのでその理由(エコ・節水)も考えるとよい。</p> <p>◇1立方メートルよりも2リットルのペットボトルに換算にして、視覚にうったえられるようにする。</p>

③④ じゃ口の水が通る道

p40～41

(2時間)

⑤⑥ きれいな水をつくるために

p42～43

(2時間)

⑦ 安全でおいしい水をつくるために

p44～45

(1時間)

(副) ③④⑤⑥⑦

浄水場のしくみ

P96～98 (5時間)

⑧ 地図帳でさがそう

p46～47

(副)

⑧ 水を手に入れるために

P99～100

(2時間)

⑨ 水のふるさとを調べてみよう

p48～49

(1時間)

○学習問題にそくして、「水の旅」を調べる計画を立て、学校からまちに出て調査し気づいたことを写真に撮り、発表する。

・給水タンク ・水道メーター

・水をきれいにする工場

○浄水場見学の計画をたてる。

○見学計画をもとに浄水場を見学し、ワークシートに機会や設備の面できれいにするしくみをメモする。

・きれいになるしくみ

・なぜ広いのか ・機会や設備

・働いている人

○見学計画をもとに浄水場を見学し、きれいにするほかにどんな工夫をしているか、働いている人にインタビューする。

・魚 (安全かどうか)

・ペットボトル (浄水場の名前)

・コンピュータ ・水道法

○筑後川の水はどこからやってくるのか、地図帳をもとに調べて、気づいたことを発表し合う。

・川 (地図帳で調べる)

・となりの県にもつながっている

・他の地域とも協力

・上流にダム ・ダムの働き

○地図帳や資料をもとに、ダムのさらに上流の様子について調べてわかったことを発表し、これからの水とのつきあい方について考える。

・ダムの上流は森

・水源林も水を貯える大切な役割

・水源の森を守っている人がいる

・水は長い旅をしってくる

●水道の蛇口から出る水はどこから来るのか、学校の施設を見学し、水道管から先については各自の予想をカードに書こう。

・豊川につながっている

・井戸につながっている

●浄水場見学の計画をたてよう。

◇見学ができない場合は、出前講座「ピカピカの水～わたしたちのくらしと水道・下水道」(上下水道局)の活用をする。

◇「かがやく豊橋」のP98の浄水場の写真や図を参考にする。

●安全でおいしい水をつくるための工夫やしくみを調べて発表しよう。

・安全な水 ・いつも点検

◇浄水場の各施設の名称などよりも、計画的に協力的に飲料水が作られていることに気づかせたい。

◇見学時のマナーやメモの取り方など、各自気をつけて取り組ませる。

●水の旅を、スタートからゴールまでというようにわかりやすく絵と文でカードに書こう。

◇川やダムを想起させて書かせたい。

・宇連ダム ・大島ダム・豊川

・豊川用水 ・牟呂用水

・浄水場 配水池

●調べてわかったことを発表しよう。

・水は循環している ・森を守っている人がいる

◇「かがやく豊橋」のP99の東三河の河川の様子を図を参考に話し合いをさせる

⑩⑪ きれいな川  
をつなげるた  
めに p50～51  
(2時間)

- 筑後川の水を利用している他地域の4年  
生と交流し、意見を交換する。
- ・上流でも川を汚さない取り組み
  - ・地域間の協力
  - ・上流の人たちと下流の人たち
  - ・水環境サミット
  - ・川の水を守っている専門家
  - ・わたしたちにできることは？

● 写真、絵、クイズ、マンガなどを取  
り入れて、水の旅についてわかりや  
すくまとめよう。

- ・水源林に毎年植樹
- ・水道料金の一部→水源林の保護
- ・下草がり
- ・水を流しっぱなしにしない
- ・水の再利用
- ・上流の人と下流の人で協力

◇環境、節水など自分にできる取り組み  
について、ごみの学習とも関連させて書  
かせるようにしたい。

⑫ 大切な水のた  
めに p52～53  
(1時間)

○これまでに学習したことを振り返って、  
わたしたちには何ができるか話し合う。

● これまでの学習を振り返って、自分  
たちにできることを話し合おう。

(副) ⑩⑪⑫  
水の節水状  
況・災害にそな  
えて P101～  
102  
(2時間)

- ・節水
  - ・水を出しっぱなしにしない。  
(洗面、洗車、歯磨き、シャワー…)
  - ・雨水を再利用する。
- 世界の水事情に目を向けて考えを深め  
る。
- ・蛇口をひねれば水が手に入るのは、当た  
り前ではない。
  - ・もっと水に感謝しなければならない。
  - ・水は良好な生活環境には欠かせない。
  - ・地球規模で考えても、水は限りある貴重  
な資源である。これからも水を使い続ける  
ための工夫や協力が大切である。

◇「かがやく豊橋」のP101の市の節水  
状況の資料を参考に自分たちのでき  
ることを考えさせる。